



パブロ・ピカソ 《剣を持つ男》 1969年 ©2020 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)

令和2年度特別企画展 2

パリの見た夢

服部コレクション 20世紀フランス絵画展

2020 9.26 [Sat.] - 11.8 [Sun.] 弘前市立博物館

【主催】フランス絵画展実行委員会（東奥日報社、弘前市文化団体協議会、アップルウェブ株式会社、公益社団法人弘前観光コンベンション協会、弘前市）、弘前市立博物館

【後援】東奥日報文化財団、RAB 青森放送、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社
【協力】山形新聞社、山形美術館 【企画協力】アートワン

ピカソ、シャガール、ルオー
巨匠たちから現代へ
De la Hattori collection



ジョルジュ・ルオー 《告発されたピエロ》 1953～56年



モーリス・ユトリロ 《アトリエ座》 1925年

芸術の花開く 20世紀のパリへようこそ

19世紀後半、それまでの伝統的な絵画とは一線を画す印象派の誕生は、その後の画家たちにより自由で新しい絵画表現を促しました。

20世紀に入ると視覚的な新しさを追求したモダニズム運動が勢いを増していきました。様々な芸術理論が掲げられ、革新的な芸術がパリで生み出されています。一方で芸術の都・パリに憧れ、やってきた異邦の芸術家たちはエコール・ド・パリと呼ばれ、個性豊かな作品を描きました。伝統と革新が入り交じり、人間の内面を追求する多彩な絵画の世界は、第二次大戦後を含め、20世紀を通して育まれました。

本展では山形美術館・服部コレクションの名品をご紹介します、パリで花開いた芸術の世界へご案内します。



モイーズ・キスリング 《ジョゼット》 1934年



マルク・シャガール 《花束を持つ少女》 1943年
@ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020, Chagall® C3277

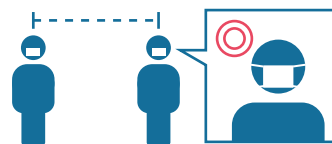
新型コロナウイルス感染防止のためのお願い



入館に際して検温を行っています。
発熱、咳等の症状がある方は入館をご遠慮ください。



入口に消毒液を設置しています。手指の消毒を行ってください。



館内ではマスクを着用し、他のお客様と距離を保って観覧するようお願いいたします。

☆館内は作品の保護を目的として、24時間空調を使用し、温湿度の維持管理と空気の入れ替えを行っております。安心してご観覧ください。

パリの見た夢 服部コレクション 20世紀フランス絵画展

【開館時間】 9時30分～16時30分

【休館日】 なし

【観覧料】 一般 800円 (600円)

高・大学生 400円 (300円)

小・中学生 200円 (100円)

※()内の金額は団体料金(20名以上)。

※65歳以上の弘前市民、市内の小中学生、市内の留学生、ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方、障がいのある方は無料。

※本特別企画展開催中は「高岡の森弘前藩歴史館」との共通券は使用できません。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、会期等が変更になる場合があります。

◆併催 常設展「ひろさきの歴史と文化～原始から近現代へ～」

【アクセス】 東北新幹線「新青森駅」乗換 奥羽本線「弘前駅」下車 弘前公園まで路線バスで約15分

地図



弘前市立博物館
公式 web サイト

住所：青森県弘前市大字下白銀町 1-6 弘前公園内 TEL：0172-35-0700